

コンクリート打設参考図 S=1/100

Aブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	A-1	43.59	45.36 (1.77)
	A-2	43.44	94.26 (5.46)
	A-3	42.92	138.98 (1.80)
	A-4	42.02	184.06 (3.06)
	A-5	40.73	229.43 (4.64)
	A-6	39.07	270.46 (1.96)
	A-7	48.86	323.97 (4.65)
	A-8	58.60	387.09 (4.52)
	A-9	33.39	422.98 (2.50)
	A-10	23.80	450.29 (3.51)
	A-11	19.43	472.15 (2.43)
	A-12	18.09	492.06 (1.82)
	A-13	16.75	510.37 (1.56)
	A-14	15.41	527.34 (1.56)
	A-15	16.53	546.15 (2.28)
	小計		546.15
	控除		- 2.02
	総計		544.13

Bブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	B-1	61.88	61.88
	B-2	57.83	119.71
	B-3	70.80	190.51
	B-4	48.38	238.89
	B-5	79.46	318.35
	B-6	41.36	359.71
	B-7	55.00	414.71
	B-8	29.38	444.09
	B-9	20.03	464.12
	小計		464.12
	控除		- 7.66
	総計		456.46

Cブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	C-1	61.88	61.88
	C-2	57.83	119.71
	C-3	70.80	190.51
	C-4	48.38	238.89
	C-5	79.46	318.35
	C-6	41.36	359.71
	C-7	55.00	414.71
	C-8	29.38	444.09
	C-9	20.03	464.12
	小計		464.12
	控除		- 7.66
	総計		456.46

Dブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	D-1	61.88	61.88
	D-2	57.83	119.71
	D-3	70.80	190.51
	D-4	48.38	238.89
	D-5	79.46	318.35
	D-6	41.36	359.71
	D-7	55.00	414.71
	D-8	29.38	444.09
	D-9	20.03	464.12
	小計		464.12
	控除		- 7.66
	総計		456.46

Eブロック打設計画

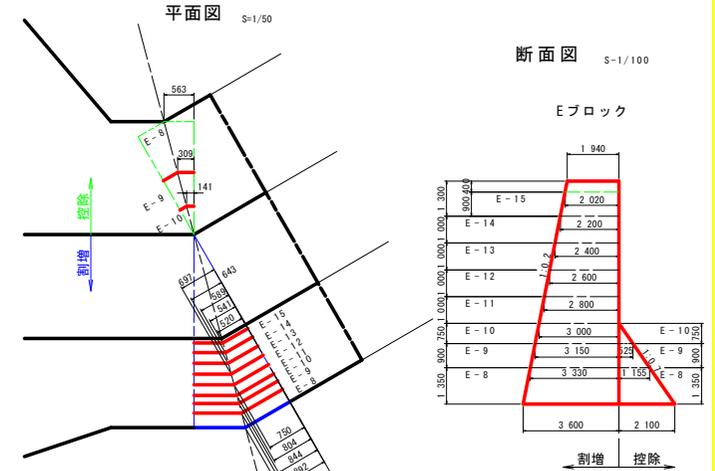
打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	E-1	61.82	61.82
	E-2	61.02	122.84
	E-3	59.77	182.61
	E-4	58.07	240.68
	E-5	55.90	296.58
	E-6	53.29	349.87
	E-7	66.19	416.06
	E-8	100.97	517.03
	E-9	54.48	571.51
	E-10	37.41	608.92
	E-11	34.00	642.92
	E-12	30.16	673.08
	E-13	26.55	699.63
	E-14	23.15	722.78
	E-15	23.88	746.66
	小計		746.66
	控除		- 2.02
	総計		744.64

Fブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	累 計
	F-1	25.85	25.85
	F-2	23.83	49.68
	F-3	14.78	64.46
	F-4	15.38	79.84
	F-5	15.74	95.58
	F-6	15.86	111.44
	F-7	20.40	131.84
	小計		131.84
	控除		
	総計		131.84

- 堤体施工に関する留意事項
- 1 リフト高
 - 1) リフトの打設高さは0.75~2.0mを標準とする。
 - 2) 岩盤上及びやむを得ず長い日数にわたって打止めおいたコンクリートに打越えときは0.75~1.0mのリフトで数日リフト打がない。
 - 3) 旧コンクリートの材令が0.75m以上1.0m未満のリフトの場合は3日(中2日)、1.0m以上1.5m未満のリフトの場合は4日(中4日)、1.5m以上2.0m以下のリフトの場合は5日(中4日)に達した後に新コンクリートを打越えなければならない。
 - 4) 隣接ブロックの打設高低差は、上下流方向で4リフト、横方向8リフト以下とする。
 - 2 打設計画
 - 1) 施工に先立ち全体の打設計画を立て、日々打設のブロック割を決定し、打設する。
 - 2) ブロック打設の場合は硬化後の発熱を考慮し、隣接ブロックの打込み順序を決める。
 - 3) コンクリート打込み前にあらかじめ基礎岩盤面の浮石、堆積物、油及び岩片等を除去した上で、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去しなければならない。
 - 4) コンクリートを打込む基礎岩盤及び水平打継目のコンクリートについては、あらかじめ吸水性、湿度状態にした上で、モルタルを塗り込むように敷均さなければならない。
 - 5) モルタルの配合は本体コンクリートの品質を損なうものであってはならない。また、敷き込むモルタルの厚さは平均厚で、厚壁では2cm程度、水平打継目では1.5cm程度とするものとする。
 - 6) 水平打継目の処理については、圧力水等により、レイタンス、雑物を取り除くとともに清掃しなければならない。
 - 7) リフトを数層に分けて打込むときは、締固め後の1層の厚さが、40~50cm以下を標準となるように打込まなければならない。
 - 8) コンクリートの養生を散水等により行わなければならない。コンクリートの養生方法は、外気温、配合、構造物の大きさを考慮して適切に行わなければならない。
 - 9) 水通し部は、なるべく計画排水量を流通させる前を確保できる打設計画とする。
 - 10) 水通し部と前縁部の打設計画は、水叩工を施工する前に水通し部の打設高を高くしてはならない。また側壁を打設完了した場合、本堤水通し幅は側壁幅以下とする。
 - 11) 前縁側壁の打越は水叩上面と同高さで打越えてはならない。
 - 12) コンクリートの打込みはコンクリートバケットの使用を標準とし、コンクリート打込み用バケットを、その下縁が打込み面より1m以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くに、コンクリートを排出しなければならない。
 - 3 新旧年度の打越
 - 1) 新旧年度打越の水平面は硬化遅延剤、垂直面はチッピング処理を講じる。チッピングの厚さは0.5~1.0cm程度とする。
 - 2) 硬化遅延剤の施工方法はコンクリート打設後、ブリージング水を除去してから液体を散布し、約8~24時間後(一般に12~14時間)、水を噴きかけながら硬いブラシでこすり、凝結遅延しているモルタル部分を完全に洗い出し骨材を露出させる。
- ※ 徳島県 砂防技術指針(案) 平成29年4月 P.VIII-13

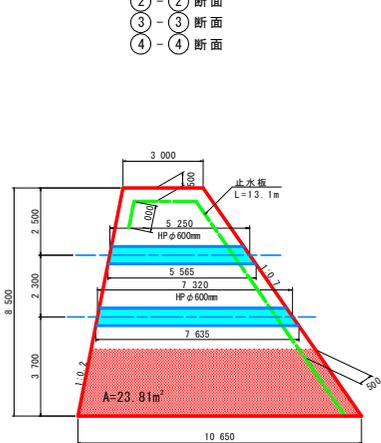
Eブロック(袖折れ部)詳細図



断面図

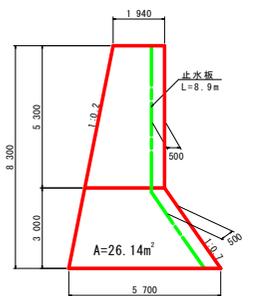
- ① - ① 断面
- ② - ② 断面
- ③ - ③ 断面
- ④ - ④ 断面

⑤ - ⑤ 断面

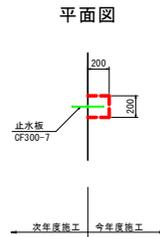


止水板 L = 13.1 m (うち 3.1 m)

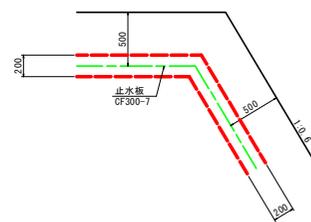
水抜き管 (φ600)



止水板設置参考図 S=1/25



断面図



水抜き部控除数量

(上段)
 $r^2 * 3.14 * L = 0.35^2 * 3.14 * 5.25$
 $= 2.02 \text{ m}^3/\text{箇所} \rightarrow 2.02 * 5 \text{箇所} = 10.10 \text{ m}^3$

(下段)
 $r^2 * 3.14 * L = 0.35^2 * 3.14 * 7.32$
 $= 2.82 \text{ m}^3/\text{箇所} \rightarrow 2.82 * 6 \text{箇所} = 16.92 \text{ m}^3$

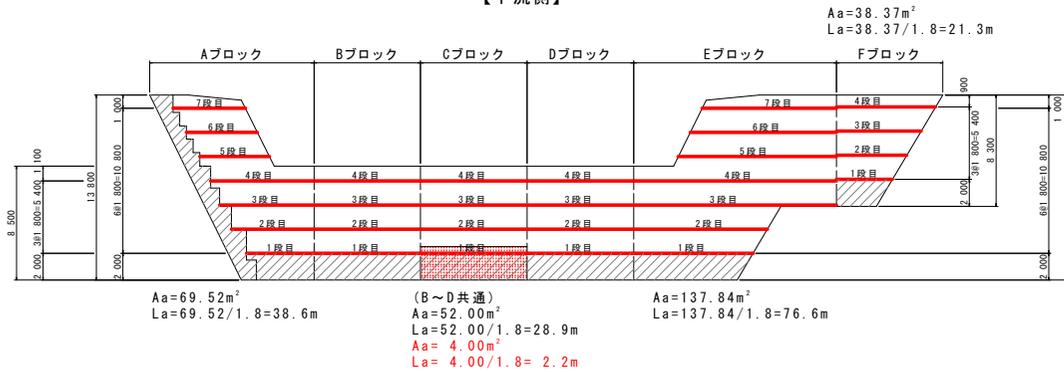
参考図面(当初)

工事名	R6徳土、左右山谷 神・下分
路線名等	砂防工事(1) (掘削手続保証) (掘削日指定型) 左右山谷
工事箇所	名西郡神山町下分学左右山(第1分割)
図面名	コンクリート打設参考図
縮尺	図示 図面番号 2 / 5
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

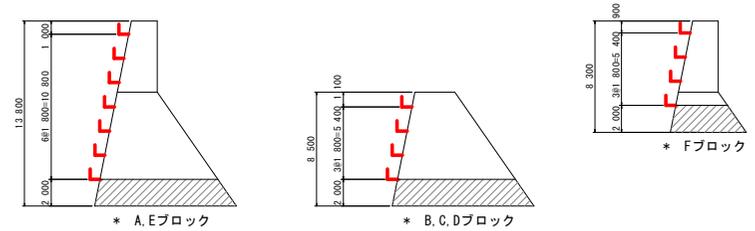
足場工算出要領図

S=1/200

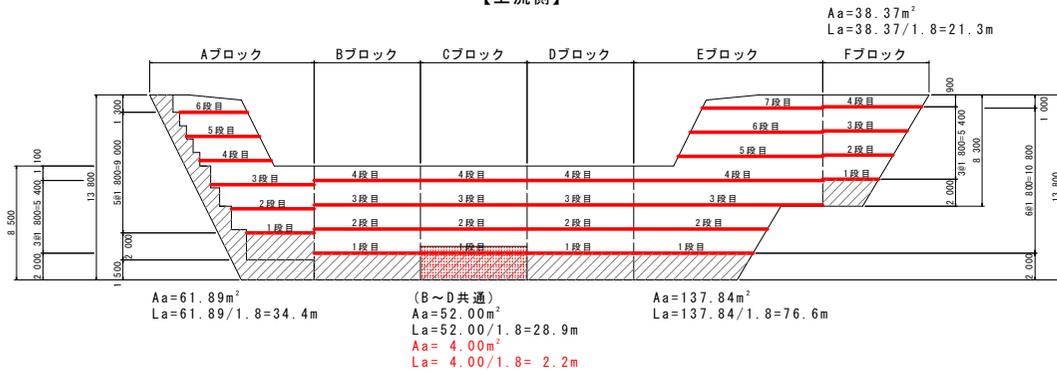
正面図
【下流側】



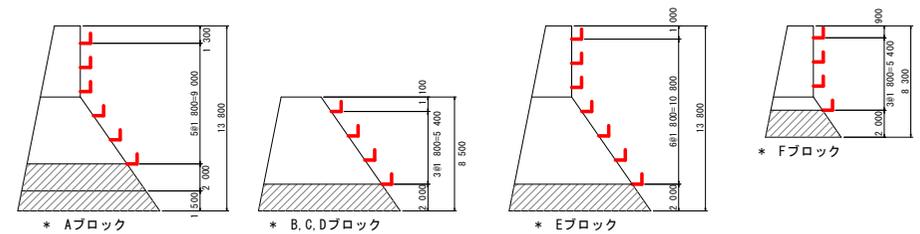
側面図
【下流側】



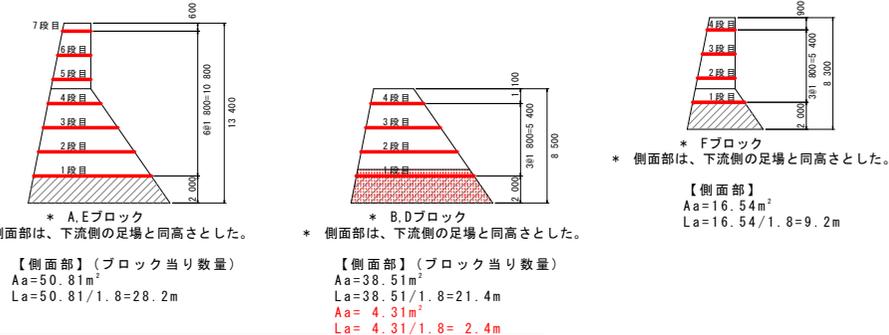
正面図
【上流側】



側面図
【上流側、側面側】



ブロック割図



足場(キャットウォーク)延長

足場延長の算出方法は、足場の高さ方向の標準設置間隔を1.8mとして段数を決定し算出する。
 足場延長算出式 $La = Aa/1.8m$
 Aa : 足場対象面積(m²) ※垂直投影面積とし、足場の不要となる基礎地盤より2.0m分は控除するものとする。

注意事項

1. 間詰がない場合は基礎から2mのところより計上する。
2. 足場の不要となる基礎地盤とは、平坦($i=1/10$ 以内)が5.0m以上の箇所をいう
3. 斜傾部分は計上しない。
3. 1ブロック(自地の間)内では段数は計上しない。
4. ジョイント部は各年度の最終リフト差が2mを超える場合に計上する。

本堤 足場合計

Aブロック :
Bブロック :
Cブロック : $2.2 + 2.2 + 2.4 = 6.8m$
Dブロック :
Eブロック :
Fブロック :

合計 6.8m

参考図面(当初)

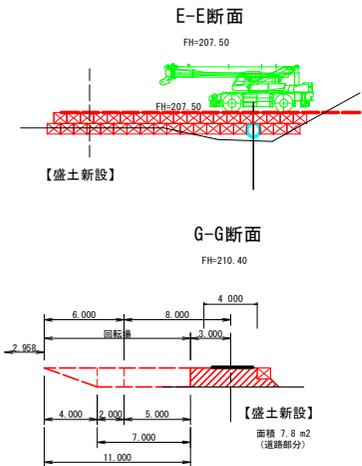
工事名	R6徳土 左右山谷 神・下分
路線名等	砂防工事(1) [掘削手探保型] (滑り台指定型)
工事箇所	左右山谷
図面箇所	名西郡神山町下分字左右山(第1分割)
図面名	足場工算出要領図
縮尺	1:200 図面番号 3 / 5
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

STEP1:下流側坂路築造

1. 町道より河川手前まで設置された坂路を使用して、堰堤直下までの工事用搬入路を築造する。
2. 現況坂路は、幅員2.0m~3.5m程度であり、既設石積み擁壁の補強及び拡幅のために大型土のうを設置する。
3. 河川内は暗渠を設置して横断し、河川中央付近を通る工事用道路を設置する。
4. 現道を使用する区間は、現道の勾配を使用する。

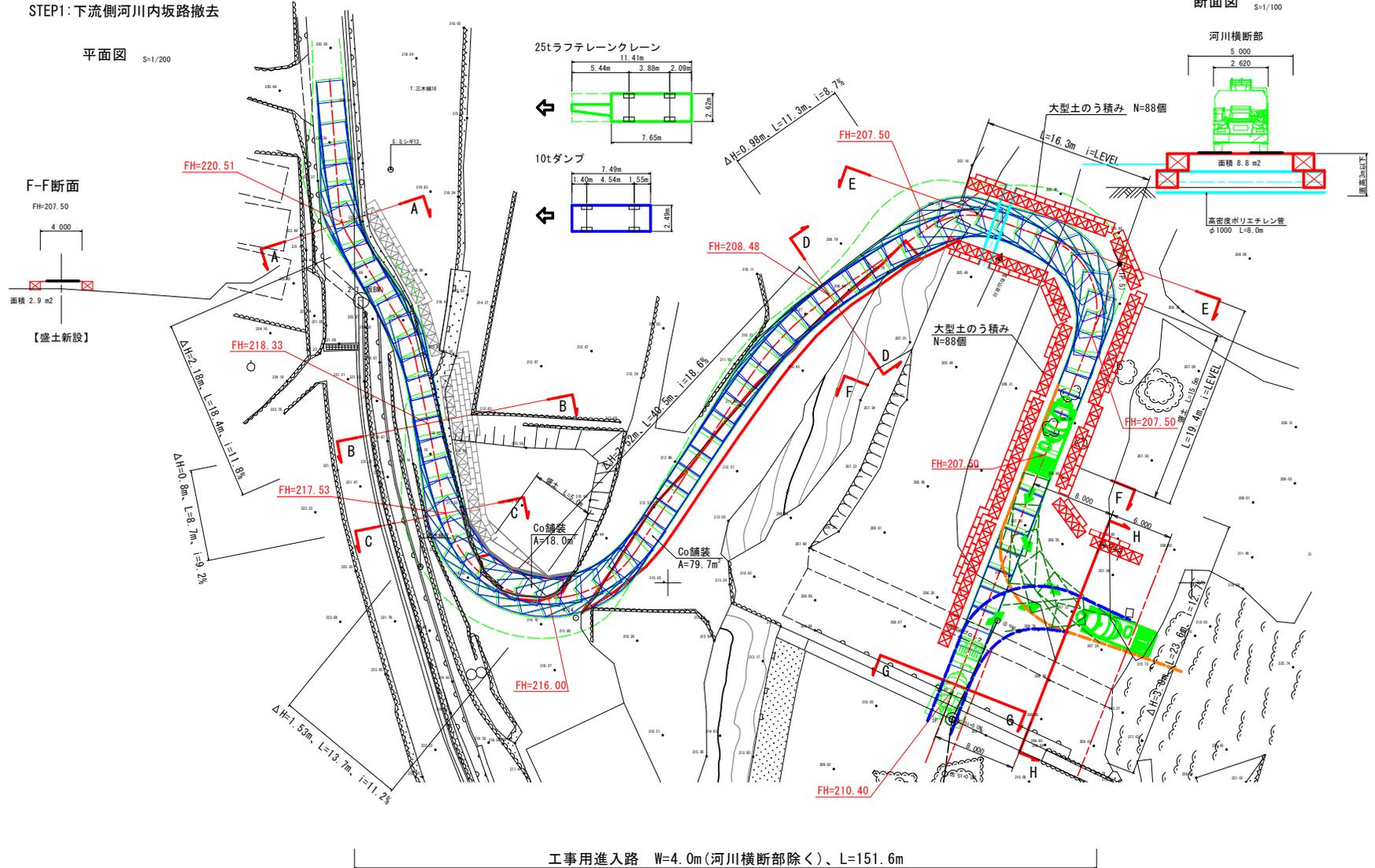
横断面

S=1/200



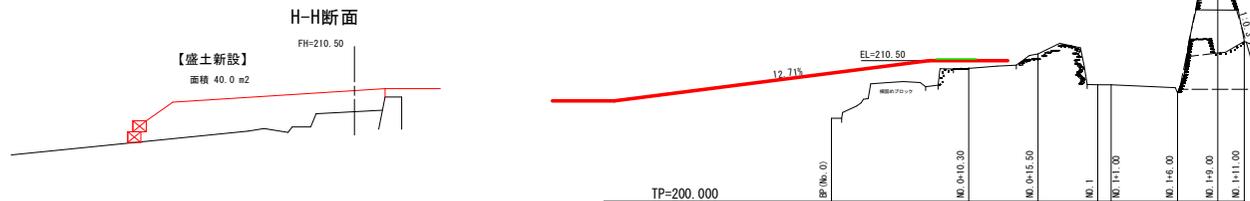
STEP1:下流側河川内坂路撤去

平面図 S=1/200



縦断面図(既設堰堤下の搬入部)

S=1/200



参考図面 (当初)

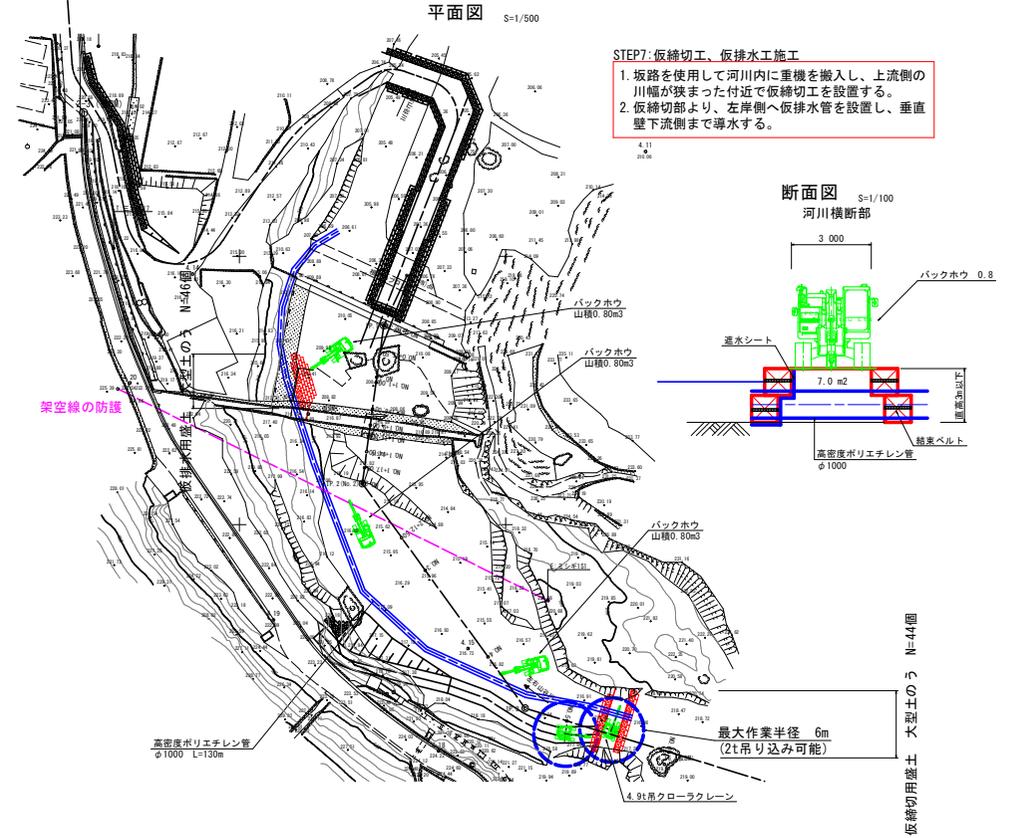
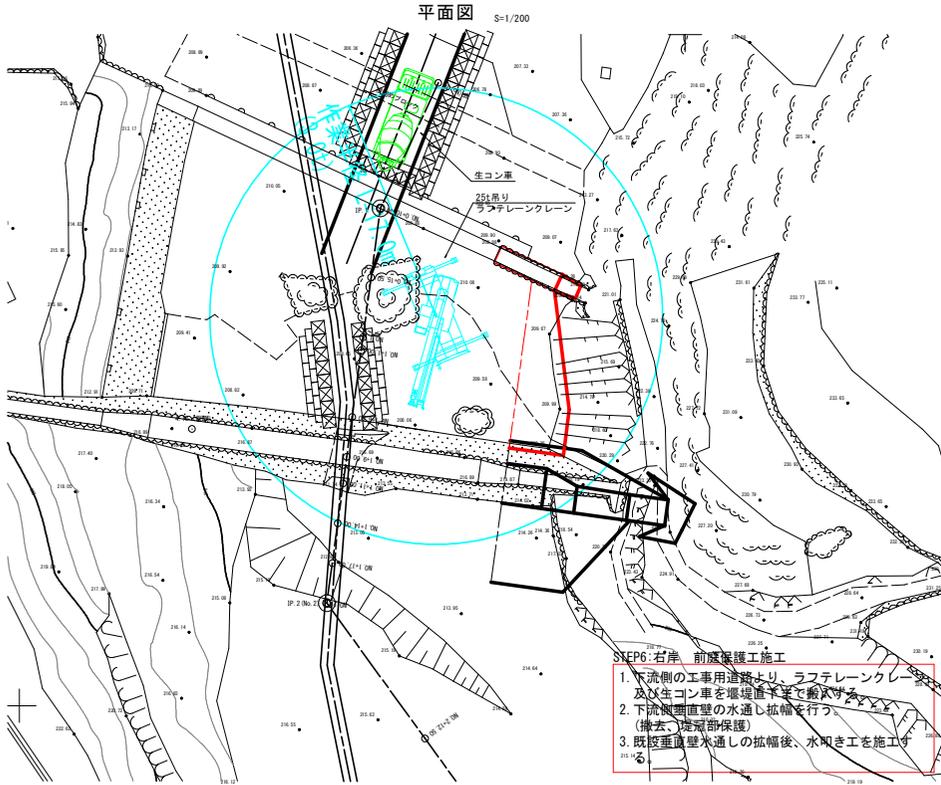
工事名	R6徳土、左右山谷、神・下分 砂防工事(1) (掘削手塚保型) (掘削日指定型)
路線名等	左右山谷
工事箇所	名西郡神山町下分学左右山 (第1分割)
図面名	施工計画図 (案)
縮尺	図示 図面番号 4 / 5
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

STEP6: 右岸 前庭保護工施工

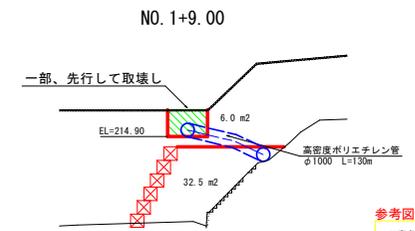
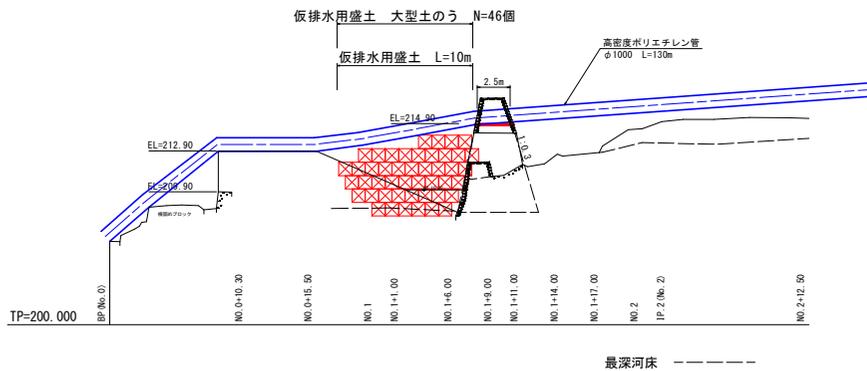
大型土のう : 90個
 路体盛土 : 240m²
 仮排水管 : 130m
 Co取壊 : 15m²

概算工期(設置) 13日
 概算工期(撤去) 14日

STEP7: 仮締切工、仮排水工施工



縦断面図 S=1/200



参考図面 (当初)

工事名	R6徳土 左右山谷 神・下分 砂防工事 (1) (組手保壁型) (滑り台指定型)
路線名等	左右山谷
工事箇所	名西郡神山町下分左右山 (第1分割)
図面名	施工計画図 (案)
縮尺	図示 図面番号 5 / 5
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>